

2019年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年3月15日

上場会社名 株式会社モルフォ 上場取引所 東
 コード番号 3653 URL http://www.morphoinc.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平賀 督基
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部長 (氏名) 福永 寛康 TEL 03(3288)3288
 四半期報告書提出予定日 2019年3月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年10月期第1四半期の連結業績（2018年11月1日～2019年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年10月期第1四半期	574	9.1	87	△13.0	72	△16.0	13	△70.9
2018年10月期第1四半期	526	4.6	100	△45.7	86	△60.8	45	△70.4

(注) 包括利益 2019年10月期第1四半期 △4百万円 (-%) 2018年10月期第1四半期 42百万円 (△73.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年10月期第1四半期	2.49	2.48
2018年10月期第1四半期	8.61	8.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年10月期第1四半期	5,740	5,452	94.9	1,013.20
2018年10月期	5,847	5,456	93.3	1,014.06

(参考) 自己資本 2019年10月期第1四半期 5,447百万円 2018年10月期 5,454百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年10月期	—	—	—	—	—
2019年10月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年10月期の連結業績予想（2018年11月1日～2019年10月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	15.8	500	△25.2	500	△24.5	312	△32.9	57.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次で業績管理を行っているため、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年10月期 1 Q	5,382,800株	2018年10月期	5,382,800株
② 期末自己株式数	2019年10月期 1 Q	1,700株	2018年10月期	1,700株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年10月期 1 Q	5,381,100株	2018年10月期 1 Q	5,337,143株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるスマートフォン市場は、中国を筆頭とした巨大市場の成長の頭打ち感が強まる一方、通信速度の大幅な向上が想定される次世代通信方式「5G」関連サービスの商用化への期待の高まりも見られ、市場全体としては底堅い推移を見せております。また、人工知能(AI)を活用した関連産業の市場は、生産性向上や製品・サービス品質向上を目指す企業ニーズの高まりを受け、良好な状況が続いております。

このような状況下において、当社は2019年1月30日に2019年10月期から始まる3カ年の中期経営計画「Vision2021」を発表いたしました。引き続き「全てのカメラに知能を持たせる」をビジョンに掲げ、「モルフォ画像技術のデファクトスタンダード化」「成長スピード加速」を中期経営目標に設定し、「経営資源の重点配分」「グローバル化加速」「経営基盤強化」を施策の柱に据えて目標の達成に向けて取り組んでまいります。

「Vision2021」の策定に伴い、従来事業部別に分散していた営業・開発リソースを集約し、経営資源の効率的な活用と重点領域への集中的な経営資源配分を実行するために、従来の「カメラデバイス事業」と「ネットワークサービス事業」の事業部体制を改め、会社組織を変更いたしました。また、海外拠点の組織強化とパートナー企業との連携強化を進め、競合他社よりも短時間で付加価値が高い製品・サービスをグローバルに提供できるグループ体制を構築し、海外市場における更なる売上拡大を狙います。

昨年度設立いたしました中国現地法人のサービス開始、同じく昨年度に子会社化いたしましたフィンランドのデータサイエンス企業であるTop Data Science社との技術融合による製品ラインの拡充など、グループ体制強化に向けた取り組みが進捗しております。更に、米国Qualcomm社のソフトウェアアクセラレータプログラムへの参加や萩原エレクトロニクス株式会社との画像処理、画像認識AIおよびハードウェアシステム開発の領域における業務提携など、営業活動や技術優位性の高い製品開発の強化を目的としたパートナー企業との連携にも注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は574,468千円（前年同四半期比9.1%増）、営業利益は87,416千円（前年同四半期比13.0%減）、経常利益は72,693千円（前年同四半期比16.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13,392千円（前年同四半期比70.9%減）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、当社グループの報告セグメントは単一セグメントとなることから、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は4,933,404千円となり前連結会計年度末に比べ51,299千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が95,737千円、仕掛品が5,553千円増加し、売掛金が139,357千円減少したことによるものであります。

固定資産は806,662千円となり、前連結会計年度末に比べ56,135千円減少いたしました。これは主にのれんが33,847千円、繰延税金資産が20,408千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、5,740,067千円となり、前連結会計年度末に比べ107,434千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は259,824千円となり前連結会計年度末に比べ102,898千円減少いたしました。これは主に前受金が38,922千円増加し、未払法人税等が87,784千円、未払金が31,006千円減少したことによるものであります。

固定負債は28,096千円となり、前連結会計年度末に比べ90千円増加いたしました。これは、資産除去債務が90千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、287,921千円となり、前連結会計年度末に比べ102,807千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は5,452,146千円となり前連結会計年度末に比べ4,626千円減少いたしました。これは主に利益剰余金が13,392千円増加し、為替換算調整勘定が20,808千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年12月14日に「平成30年10月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,324,545	4,420,283
売掛金	607,691	468,333
仕掛品	1,597	7,150
前払費用	41,004	36,703
その他	12,351	13,655
貸倒引当金	△2,487	△12,722
流動資産合計	4,984,704	4,933,404
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	43,810	42,290
工具、器具及び備品(純額)	70,217	74,649
有形固定資産合計	114,028	116,939
無形固定資産		
ソフトウェア	41,697	41,239
のれん	363,182	329,334
その他	4,532	4,906
無形固定資産合計	409,412	375,480
投資その他の資産		
投資有価証券	22,469	22,469
敷金及び保証金	97,753	93,343
繰延税金資産	198,692	178,284
その他	70,001	69,705
貸倒引当金	△49,560	△49,560
投資その他の資産合計	339,355	314,242
固定資産合計	862,797	806,662
資産合計	5,847,501	5,740,067

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	26,805	21,947
1年内返済予定の長期借入金	8,980	4,960
未払金	79,519	48,513
未払法人税等	104,035	16,251
未払費用	15,167	17,549
前受金	92,745	131,668
賞与引当金	13,409	-
その他	22,058	18,933
流動負債合計	362,722	259,824
固定負債		
資産除去債務	28,006	28,096
固定負債合計	28,006	28,096
負債合計	390,728	287,921
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,771,213	1,771,213
資本剰余金	1,719,883	1,719,883
利益剰余金	1,952,960	1,966,353
自己株式	△10,711	△10,711
株主資本合計	5,433,345	5,446,737
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	21,275	466
その他の包括利益累計額合計	21,275	466
非支配株主持分	2,152	4,941
純資産合計	5,456,772	5,452,146
負債純資産合計	5,847,501	5,740,067

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)
売上高	526,482	574,468
売上原価	90,605	143,802
売上総利益	435,876	430,665
販売費及び一般管理費	335,348	343,248
営業利益	100,528	87,416
営業外収益		
受取利息	20	0
その他	-	539
営業外収益合計	20	539
営業外費用		
支払利息	62	21
為替差損	13,979	15,241
その他	0	0
営業外費用合計	14,042	15,263
経常利益	86,506	72,693
税金等調整前四半期純利益	86,506	72,693
法人税、住民税及び事業税	30,050	35,885
法人税等調整額	10,499	20,408
法人税等合計	40,549	56,293
四半期純利益	45,957	16,399
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	3,007
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,957	13,392

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)
四半期純利益	45,957	16,399
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,000	△21,026
その他の包括利益合計	△3,000	△21,026
四半期包括利益	42,956	△4,626
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,956	△7,415
非支配株主に係る四半期包括利益	—	2,789

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年11月1日 至 2018年1月31日)

「II 当第1四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、「カメラデバイス事業」、「ネットワークサービス事業」の2つを報告セグメントとしておりましたが、当連結会計年度より単一セグメントに変更しております。

当社グループでは、従来、本社に事業を展開する分野別・顧客別の事業部を設置し、各事業部は包括的な戦略を立案し事業活動を展開しておりましたが、当連結会計年度より、各事業部別に分散していた営業・開発機能を集約することによって、全社の生産性を上げ、迅速かつ付加価値の高いサービスを提供することを目的に、会社組織を変更しております。

また、当社グループにおきましては、当連結会計年度より3カ年に亘る新たな中期経営計画「Vision2021」を策定し、成長戦略を改めており、重点事業領域においてオンリーワン・ナンバーワンのサプライヤーとして成長を遂げ、中期目標として掲げる「モルフォ画像技術のデファクトスタンダード化」を達成すべくグローバル化を加速しております。

これら会社組織の変更、新たな中期経営計画の策定、経営管理体制の実態等を踏まえ、報告セグメントについて再考した結果、当社グループの事業を一体として捉えることが適切であると判断したものであります。

この変更により、当社グループの報告セグメントは単一セグメントとなることから、前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。